

A I 等新技术を活用した交通誘導警備システム実演会を開催しました

一般社団法人山梨県警備業協会交通部会は10月15日、笛吹市内の自動車教習コースで「AI交通誘導システム」の実演会と勉強会を行いました。

実演会に先立ち、幡野協会長は、「DX化等の生産性の向上に目を向けた取り組みは、警備員不足への対策や、これからの警備業界の発展に欠かせないものである。本日のAI交通誘導システムは、これからの時代、交通誘導警備の省人化に向けた活用が見込まれるものであり、システムの機能や安全対策について正しく理解をしてもらいたい。」とあいさつをされました。

AI交通誘導システムは、KB-eye（山梨県昭和町、秋山一也・橘田孝一共同代表）が開発したシステムであり、片側交互通行の現場道路にシステムを設置することで、車両の通過数や周辺の渋滞情報を自動的に取得し最適な信号切り替えを行って通行車両を滞留させることなく自動的に交通誘導を行うもので、配置人員の省人化に向けた次世代のシステムです。

現在、山梨県内をはじめ各地の災害復旧工事や舗装工事などの現場で実用化されているもので、実演会では、教習コースで実際に車両を走行させ、システムの機能等について説明を行いました。



幡野協会長



秋山代表



参加者

